

平成22年7月7日(水)東台小学校 参加者16名

19:00 開 会

- ・市長あいさつ
- ・自己紹介(副市長、教育長、総合政策部長)
- ・財政状況の説明(総合政策部長)
- ・老朽化する公共施設の説明(市長)

参加者：財政状況の説明で、人件費の中には議員の人件費も入っていると思うが、富士見市21人、朝霞市28人、ふじみ野市26人、人口千人当たりで見ても職員数も、議員数も多いと思う。他市と比べた現在の状況はどうか。検討はしているのか。

市 長：人件費の比較、平成20年度の予算ベースで、ふじみ野市59億2千万円で745名、富士見市56億2千万円で628名です。  
議員の定数削減案19人は否決されましたが、請願は採択されたので議会の中で今後何らかの策を考えていくと思います。二元代表制の中、市長が言う立場ではありません。議会が今後、自ら判断していくものと思います。新規採用の件については、退職者の2分の1補充では追いつかないので、来年の新規採用はゼロとしました。公共施設の適正配置をしながら、今後適正な人数にしていく必要があります。

参加者：適正配置のシンポジウムでかなり踏み込んだ議論をしたと思うが、その後の計画にどう活かされたのか。

市 長：現在、適正配置計画を策定中であり、その内容に活かされています。7月12日からパブリックコメントが始まるので、市民の皆さんの声と議会の声も反映しまとめていきたいと考えます。

参加者：図書館に長い間携わっているが、合併後、本の配分も上福岡の図書館が主になっている感じがする。大井は文庫を各分館でやっているが、予算が無いということで削られると、大井地区が過疎化してしまう。  
ひまわり文庫は保健センターの裏でやっているが、保健センターが空いてるなら、文庫がそこを利用してもよいと思う。もっと前面に出して欲しい。うれし野会館ももったいない。もっと利用できるのでは。使われていない施設の有効利用を考えるべき。  
消費者行政にも携わっている。無添加のものを販売しているが、当時国の

政策でやった。補助金も国からも県からも出ていた。今お金がないので補助金が無くなるのは仕方がないとしても、家賃が今年4月からいきなり月1万9千円となった。もっと消費者行政にも力を入れてほしい。商工会からはお金を取らず、なぜ小さい団体からお金を取るのか。

市長：施設を削るとかでなく、NPO、民間団体をお願いする方法などいろいろ考えていきます。保健センターについても利用方法を検討しており、現在も家庭児童相談室が入っています。空けっ放しにするわけではありません。うれし野会館はバリアフリーになっていないため、貸し館の基準を満たしていません。2階部分については、NPOなどに貸し出しを始めましたが、1階については事務所としての利用に限られています。あの施設は大井町時代に1億8千万円で買い上げた施設なので、有効利用を図りたいと思います。

#### 【個別回答】

ふじみ野市とふじみ野市大井くらしのグループとの土地の賃貸借についての経緯を説明しました。

参加者：老朽施設の管理とか耐震化で金がかかるのは分かる。シンポジウムの時にも市財政の2割を使わないと足りないという話があった。修繕でなく、アンケートでも統合しても良いという意見が多い中、いろいろな施設の利用実態はどうなのか。その動向と費用面はどうなのか、など前提条件を示されない中では議論できない。うれし野会館も市の施設なのにホームページなどのどこにも出ていない。うれしの会館は市の施設ならバリアフリー化し、使用できる施設にすればいい。

参加者：うれし野会館について、市報に載っているが、NPO貸し出し期間3年となっている。その後の考えがあるのか。期間限定している意味は何なのか。

市長：頑張っているNPO法人が力を付け自立するまでの間、利用し易い価格でという考えから期間を設定しています。3年後に何か計画があるということではありません。

公民館分館が集会所化しているところが多々見受けられます。自治会の集会所のあり方が両地域でまったく違います。どっちが悪いということではなく、それぞれの歴史の中でやってきたことです。今までのことをどうのこうの言うのではなく、これからどうあるべきかを、皆さんと一緒に考えていくことが必要と考えます。公共施設適正計画の中に個々の利用状況も

入っているので、参考にさせていただきたいと思います。

参加者：図書館をボランティアやっている。2つある施設を1つにとの話で、この地域は端で、今でも公共施設を利用するのに不便で行けないのに更に行けなくなってしまう。図書館について、上福岡、大井とサービス業態が違う。違う歴史できているなか統廃合していくのは無理だと思う。サービスが良くなると思って合併したのに、大井側はどんどんサービスが低下していく。不便になっていくのが納得できない。

市長：どちらかを切っていこうという考えではありません。合併時、支所のあり方について必ず市民感情の話になるということから、総合支所というかたちにしたが、支所であるなら、本庁と同じことができなければなりません。まずは名前にこだわらず、機能を重視したいと思います。例えば、両庁舎下の部分はサービスセンターで、どちらかの上に本庁機能があるということでも良いでしょう。地域の皆さんは自分の地域のことをおっしゃるが、このふじみ野市は非常にコンパクトなまちです。昔なら学校も一つですんでいた規模です。今まで近くにあったものが無くなると、不便を感じるというのは分かりますので、経費は少しでも落として、皆さんの要望に近づきたいと思います。何でも統廃合して上福岡の方に施設をもっていくということではありません。

参加者：出張所などを幾つかつくってそこですべて対応できるようにして欲しい。

参加者：学童で働いている。長い間30年間学童保育を続けてきたが、来年から指定管理者制度になる。指定管になると職を失うことになるかもしれない。初めは引き続きやらせていただいても、また3、4年後には見直し時期があり不安を感じる。職員が安心して働くことができ、子どもたちと接することができるようお願いしたい。子どもたちとの信頼関係づくりの面から見ても継続性が大切である。

市長：どこが指定管になるにしても、行政として丸投げをするつもりはなく、市として協定を結び、その中で、希望する職員は引き続き雇用できる内容にしたいと思います。子どもにとって良い環境を提供するのが、私たちの務めなので、環境を変えないようにしてあげたいと思います。

参加者：市報に出ていた予算の特集記事で、子ども政策を重視するとのこと。とても良い。子どもの人口が比較的多いこの地域なのだから、子どもの遊び場について、遊水池に蓋をして活用できないか以前提案したことがある。市

からは国の法律によってできないとの回答があった。その後富士見市がやったことを問いただすと、今度は金が無いからできないと言われた。ボール投げなどできる環境をつくるのが大人の義務であり役目だと思う。市長の子ども優先の切り口ではないが、これだけ子どもの多い地域に遊び場を提供することが、健全な子ども達を育成する方法なのではないか。

市 長：お金の話ではきついですが、時代が変わってきたことも感じます。確かに、外で遊ぶ子ども達が少ないと思います。学校の校庭を放課後は使えるはずですが、ご提案としては分かりますが、校庭の他にそういったものを造ることは費用対効果の面からも難しいと思います。地域ごとに子どもの数は変化しており、学校へのお金の投じ方が難しい状況です。見た目よりも、とにかく今は安全安心を優先しています。

参加者：図書館の指定管について検討中だと思うが、富士見市は全面委託、川越市は窓口のみの委託、ふじみ野市はどうなるのか。公民館はどうか。

市 長：現段階で図書館についてそのような話はありません。公民館も同様です。

参加者：旭住宅は、本下水を早く通してほしい。この東台小学校まできている。

市 長：市街化調整区域なので都市計画税は生じない地域ですが、全体の中で検討する必要があると思います。

参加者：農家の人ひとりも来ていないが、この辺りは農地との関わりが非常に大切な地域なので、話し合いを持ちたかった。都市計画の基本計画を全部読んだが、無し崩し的な地域の破壊は止めてほしい。地域の討議をもっともっていかないといけない。地域の土地利用については、多くの方からの関心を集めてほしい。

市 長：織部塚の開発行為については、6親等以内で許可要件を満たしているので許可になりました。

参加者：学校の脇の道路下水ができていますが、土が入っている。無駄なお金を使ったあげくに、福祉を削減されるのは納得できない。

市 長：私はそういうムダは無くしていきたいと思います。福祉が切られているというお話ですが、ふじみ野市では全体予算が280億円の中、生活保護費が20億円を超えている状況です。国の補助もありますが、市の負担は5

億円にのぼっています。ふじみ野市においては、福祉はかなり手厚くやっています。何を切り詰めたかという、行政経費を削っています。国から子ども手当の1割でも市に回してもらえれば、子どもの医療費無料化がすぐにもできるのですが…。今後も市民サービスを低下させないために、適正な公共施設のあり方を考えなければならないと思います。

21:05 閉会